



令和7年度 婦人科医療機関検診がはじまります！

子宮がんや乳がんの早期発見のためには、定期的に検診を受けることが大切です。
牛久市では、市発行の利用券を使用することで、検診料金の助成が受けられます。



●子宮がんとは…20～30代の年齢で急激に増加！40代でピークを迎えます

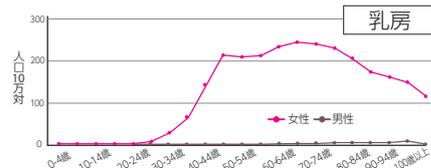
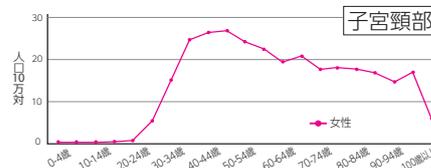
子宮がんには、子宮の入り口近くにてできる「子宮頸がん」と子宮の奥にてできる「子宮体がん」があります。とくに子宮頸がんの原因の約9割以上が、性行為や皮膚の接触によるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によるものです。

●乳がんとは…30代後半から急激に増え40代以降も多くなっています

日本人女性が罹る最も多いがんです。遺伝のみではなく食生活の欧米化や、閉経年齢が遅くなっていることなどにより、近年では乳がんにかかるリスクは高くなっています。

発見が遅くなると治療が難しくなるため、早期発見をすることが大切です
～ 定期的な検診を心がけましょう！ ～

検診は異常の見落としを防ぐために、少しでも病気の疑いがある場合には要精密検査と判断されます。要精密検査になった場合は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。



出典：国立がん研究センターがん情報センター
年齢階級別罹患率(2020年)

《検診内容・対象者・自己負担金》～ 検診は、自覚症状のない方が対象です。検診での症状の相談などはできません～

検診内容		対象者 年齢基準日：令和8年3月31日	自己負担金(市助成後の金額)	実施医療機関
子宮がん検診	子宮頸部	20歳以上	2,050円	市ホームページをご覧ください 二次元コード読み込み▶  牛久市 婦人科医療機関検診 
	子宮頸部および体部 (医師の判断で実施)		3,590円	
乳がん検診	超音波検査(エコー)	30歳～65歳	1,300円	
	マンモグラフィ検査 (エックス線)	40歳以上 偶数年齢	・40歳代(2方向撮影)…1,660円 ・50歳以上(1方向撮影)…1,300円	

婦人科検診(子宮がん・乳がん)の医療機関検診利用券について

利用券申請期間・有効期間 5月19日(月)～令和8年3月6日(金)

申請先 健康づくり推進課(保健センター内)

申請方法 期限内に下記①～③のいずれかより申請

【月～金曜日受付】※祝日・年末年始除く。

① 窓口(午前8時30分～午後5時)

② 健診専用電話☎870-5655(午前8時30分～午後5時)

【24時間受付】※令和8年2月18日(水)までの受付

③ いばらき電子申請(インターネット)

※電話・いばらき電子申請の場合は、郵送対応となるため、利用券の到着まで7～10日程度かかります。お急ぎの方は健康づくり推進課へお越しください。



利用券自動送付の対象者について

下記(1)・(2)のいずれかに当てはまる方には、子宮がん検診、乳がん検診(超音波検査・マンモグラフィ検査の該当する項目)の医療機関検診利用券を自動郵送します。

(1) 令和6年度に、市の集団検診または市の利用券を使用して医療機関で子宮がん検診・乳がん検診のどちらか一方でも受診した方

- ◆ 令和6年4月～12月に受診…5月中旬送付
- ◆ 令和7年1月～3月に受診…6月中旬送付

(2) 無料クーポン券対象の方(年齢基準日：令和8年3月31日)

- ◆ 子宮がん検診：21歳
- ◆ 乳がん検診(マンモグラフィ検査)：41歳

5月中旬送付

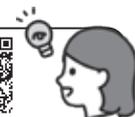
婦人科検診の (子宮がん・乳がん) 集団検診について

保健センターでは10月・令和8年2月に婦人科集団検診(子宮がん・乳がん)を実施します。実施日や申込期間等の詳細は市ホームページ、広報紙をご確認ください。

牛久市 婦人科集団検診 



一年に一度は健診(検診)を受けましょう！ 子宮がん検診、乳がん検診以外にも検診料金の助成が受けられる健診(検診)があります。保険区分や年齢によって異なります。詳しくは市ホームページをご確認ください。



※健康づくり推進課で「健診(検診)のご案内」を配布しています。ホームページをご覧ください。お問い合わせください。